

令和8年度（第12回・第13回） 「放射線災害被ばく医療セミナー」募集要項

1. 目的

放射線による被ばくや放射性物質による汚染を伴う傷病者は、原子力災害以外にも放射線・放射性物質を取り扱う医療機関や事業所等での事故やテロで発生しえます。本セミナーは、そのような傷病者の医療機関での受け入れ及び診療に必要な放射線並びに被ばく医療の基礎的な知識と技能を習得し、適切な放射線管理のもと、診療にあたることができる人材の育成を目的としています。

2. 対象者

国民保護措置に関わる後方医療施設を含めた全国の医療機関に所属する、医師、看護師、診療放射線技師、その他の病院職員を対象とします。

注) 本研修は原子力規制庁が実施する「原子力災害医療中核人材研修」とは異なります。

3. 募集人員、研修期間及び申込期間

回数	定員	研修期間（3日間）	申込開始日	申込締切日*
第12回	各 16名	7月13日(月)～7月15日(水)	4月1日(水)	5月31日(日)
第13回		9月9日(水)～9月11日(金)		7月26日(日)

※応募状況により、申し込み締切日を早めさせていただく場合がございます。

量子科学技術研究開発機構（QST）ホームページ「研修生募集」の案内をご確認下さい。

<https://www.qst.go.jp/site/kenshu/39349.html>

※諸般の事情により、開催内容や日程等が変更又は開催中止になる可能性があります。変更の場合にはQSTホームページに掲示するとともに、既に申し込まれた方には電子メールにてお知らせします。

4. 実施場所

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

放射線医学研究所 原子力防災推進部人材育成・研修課 研修棟

[交通：JR総武線稲毛駅東口より徒歩約10分]

5. 研修科目

QSTのホームページでご確認ください。

【研修の特徴】

- ① 放射線の基礎、放射線防護・管理の基礎、CBRNEテロでの防護・安全管理の概要についての講義
- ② 放射線の人体影響、爆発物テロでの医療対応、緊急被ばく医療、線量評価についての講義

- ③ 放射線テロによる高線量被ばく、内部被ばく、体表面汚染を扱う緊急被ばく医療の机上演習
- ④ 放射線測定器の取り扱い、汚染検査、防護装備の着脱、除染、施設養生の実習
- ⑤ 机上演習のシナリオに基づいた緊急被ばく医療の実習

6. 受講料

36,800円（消費税込） ※銀行振込みでの納付となります。

7. 受講申込み

- (1) QSTのホームページ《研修課程Web申し込みフォーム》よりお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/P7HGBzMvY3>



※Webでお申し込みができない場合は下記メールアドレスまでご連絡をください。

E-mail : kenshu@qst.go.jp (放射線医学研究所 原子力防災推進部人材育成・研修課)

※以下の点にご注意下さい。

- E-mailアドレスは添付ファイルの受信可能なもの（PC・スマートフォン等）をご記入下さい。ドメイン指定受信をされている場合には、@qst.go.jpのドメインを受信できるように、設定をお願いします。
 - 控えとして《お申し込み内容》画面を各自で印刷し保管して下さい。
 - 《送信》ボタンを押して申し込みが完了すると前画面の取り戻しはできません。
 - 自動送信メール《「第〇回放射線災害被ばく医療セミナー」研修」受講申し込みを受け付けました》が届かない場合は、「12. お問い合わせ先」までご連絡をお願いします。
- (2) 同一組織から複数名申し込まれる場合は、まとめてのお申し込みは受け付けいたしませんので、申し込み者ごとに【Web申し込みフォーム】への入力をお願いします。なお、必ず【受講理由】欄に受講理由及び推薦順位を《推薦順位〇位》と記載して下さい。

8. 受講決定と通知

- (1) 申込者多数の場合には厳正な選考の上、受講者を決定させていただきます。
- (2) 研修開講日の原則3週間前までにご本人（必要に応じ所属長）宛に結果を郵送します。また、受講に必要な書類を同封します。研修開講日の3週間前を経過後も結果通知と書類が届かない場合は、「12. お問い合わせ先」までご連絡下さい。
- (3) 受講決定後でも社会通念上不適当と認める事由がある場合には、受講決定を取り消すことがあります。

9. 修了証書の授与

所定の研修時間を履修された方には、修了証書を授与します。

10. 宿泊施設の利用

- (1) 申し込み時に、当機構の宿泊施設(個室)利用の有無を選択の上、ご利用を希望される方は、チェックイン・チェックアウトの希望日をご記入下さい。
 - 宿泊利用可能な最長期間は、研修開講日前日15時から閉講日翌日の朝9時までです。
 - 部屋数に限りがありご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。
- (2) 宿泊施設に食堂はありません。昼食は重粒子治療推進棟1F食堂のご利用が可能です。朝食・夕食は近隣のコンビニ、レストラン等をご利用ください。
- (3) QSTの敷地内は全面禁煙ですので、ご協力をお願いいたします。
- (4) 宿泊料金(宿泊する棟により料金が異なります)

泊数	宿泊料金(消費税込)
2泊 3日	7,800円 又は 8,000円
3泊 4日	10,200円 又は 10,500円
4泊 5日	12,600円 又は 13,000円

※クレジットカード又は交通系ICカードでのお支払いのみとなります。
現金でのお支払いはできませんのでご注意ください。

11. 受講取り消しと返金

- (1) 応募を取り消される場合は、お早めに「12. お問い合わせ先」までご連絡下さい。
- (2) 受講決定通知後の申込の取り消しには「辞退届」の提出が必須となります。なお、研修開講日2週間前を経過して取り消される場合には、原則、受講料を全額ご請求させていただきますので、予めご了承ください。
- (3) 納付された受講料は、当方の都合で研修を中止する場合を除き、原則返却致しません。

12. お問い合わせ先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
放射線医学研究所 原子力防災推進部人材育成・研修課
Tel : 043-206-3048 (ダイヤルイン)
E-mail : kenshu@qst.go.jp

申し込みにおける個人情報の取り扱いについて

申し込みに際してご記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、QSTの個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

- ①受講生への緊急連絡のため
- ②講師への情報提供のため(職務内容、専門性など)
- ③研修終了後のフォローアップのため
- ④その他研修業務の遂行のため

原子力防災推進部人材育成・研修課が取り扱う皆さまの個人情報に関する問い合わせ先
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
放射線医学研究所 原子力防災推進部人材育成・研修課 個人情報取扱管理担当
E-mail : hrdc-nirs@qst.go.jp Fax : 043-251-7819